

平成 24 年 1 月 31 日

お取引先様各位

日本アイ・ビー・エム株式会社
理事 購買担当 鈴木 あや

代金支払条件変更のお願い

拝啓 新春の候、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、購買部門のグローバル化を継続して推進しておりますが、このたび、弊社の支払関連プロセスにつきましても、グローバル標準化をはかることになり、従来の支払方式（締め日に対して月 2 回の支払い）を、以下のとおり、弊社内の全世界共通のルールに変更させていただくことになりましたので、ご通知申し上げます。

新代金支払条件：

1. 乙の有効な請求書の受領日から 60 暦日後、または、製品もしくはサービスの受領日から 60 暦日後の、いずれか遅い日を代金支払期限日とする。
2. 当該代金支払期限日が銀行休業日に当たる場合は、翌営業日を代金支払期限日とする。
3. 取引が下請代金支払遅延等防止法に規定する製造委託等に該当する場合、建設業法に規定する建設工事、下請契約に該当する場合、その他の法令の規定に該当する場合には、法令の規定を遵守する。

解説：

注文書にて発注された製品もしくはサービスが指定納期どおり提供され、請求書が交付された場合には、弊社による請求書受領日または発注物件受領日のどちらか遅い方を起算日として 60 日後に代金を銀行振込によって支払います。当該支払日が銀行休業日に当たる場合は翌営業日に支払います。但し、法令で支払条件が規定されている場合には、その通りに支払います。

新代金支払条件の適用開始：

平成 24 年 2 月 27 日の弊社受領分以降順次

上述につきましては、別途、基本契約の変更が必要になる場合がありますため、担当者からご説明をさせていただきます。何卒ご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

尚、弊社EDIシステムでは、請求書送付がオンラインで実施いただくことが可能です。まだご使用でないお取引先様に於かれましては、使用を開始いただくよう、ご案内申し上げます。

末尾となりましたが、貴社の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

敬具

EDIシステム（FOX-J）の変更に関して

別途、ご連絡いたしました支払い条件の変更にあわせて、弊社EDIシステム（FOX-J）の変更を実施いたします。変更内容は以下のとおりになりますが、これにより、請求書、納品書に関する問題に起因した支払遅れの発生等を回避すると共に、お取引先様の納品書作成／請求情報作成の簡素化を図られます。サービスインは2月27日（月）を予定しております。

詳細内容は、今後、FOXのお知らせへの掲載、およびユーザーズガイドへの反映をいたしますので、ご参照ください。

[FOX-Jの変更内容]

1. 納品書作成と請求情報作成について

- 従来、納品書と請求情報の作成は、別々の処理でしたが、今後は、納品書作成と同時に自動的に請求情報の作成がされるように変更します。これに伴い、納品書作成の画面に、請求情報が表示されますので、お取引先様の請求情報作成の処理がなくなります。
- 納品書と請求情報が統合されるため、サービスイン後は、別々に作成できなくなります。片方のみを起票された場合には、2月24日（金）までには、両方の起票を完了頂く必要がありますので、ご協力のほどお願いします。
 - ◇ 納品書のみ起票の場合、請求情報も起票頂く。
 - ◇ 請求情報のみ起票の場合も、同様。

2. 納品書作成時のシステムチェックの条件について（下図参照）

- 納品書を作成する上での条件を、以下の通り限定します。
 - 1 納品書を作成できるのは、作成する日を基準にして、その時点での納期遅れ（納期が過去日）の注文、と、3労働日先までの納期を持つ注文、に対して。（図1）
 - 2 納入日として入力できる日付は、納品書を作成する日を基準にして、5労働日前、5労働日先、まで。（図2）
 - 納入日は弊社に到着する日付を記載してください。

注記：

- 物品あるいはサービスは、指定された納期に納入することが原則になりますので、この変更を入れさせていただきます。
- 納期通りに納入できない場合には、納期変更を弊社バイヤーにご依頼ください。

(図1) 納品書兼請求書を作成できる対象(納期)



(図2) 「納入日」として入力可能な日付



3. 納品書作成画面について

- 納品書作成画面を、以下の通り変更します。
 1. 納入日には、納期を初期値として表示するようになります。
 - もし、納期に納入できない場合は 正しい納入日に書きください。
 2. 納品書の一括作成の機能は無くなります。

以上